高梁川上流森林計画区の森林計画に関する地域懇談会を行いました

令和元年９月２７日
広島北部森林管理署

9 月 26 日、神石高原町油木協働支援センターにおいて、令和 3 年 4 月 1 日を始期とする高梁川上流森林計画区（国有林対象）の地域管理経営計画(R3.4.1-R8.3.31)に関する地域懇談会を行いました。

この地域懇談会は、地域管理経営計画の策定前に、地域の方々から計画検討の参考となる意見を聴くもので、公募により申し込みのあった 12 名の方が参加していただきました。

地域懇談会の様子

地域懇談会では、地域管理経計画を策定する上での基本方針、高梁川上流森林計画区における特徴的な取組や、今後策定する地域管理経営計画の検討方向などについて、資料等に基づき丁寧に説明しました。

地域管理経営計画の検討方向について説明

林業の成長産業化について説明

意見を述べる参加者

参加者からは、「森林経営管理制度を運用していく上で、国有林の役割は大きい。特に、事業の計画的発注に取り組んでいただきたい。」また、「民国連携、低コスト林業に取り組んでいくためには、民有林と国有林が有機的に連携・調整した路網整備が重要。」などの意見がありました。

広島北部森林管理署では、今回の地域懇談会で出された様々な意見を踏まえ、今後、高梁川上流森林計画区の地域管理経営計画の策定に取り組んでいきます。